

中堅臨床家対象 ワーク・ディスカッション online

若手の時期を何とか生き残り、中堅期に差し掛かると、これまでの経験から自分なりの臨床的な考えが身についてきます。特に10年くらい経過した中堅の入り口では、いろいろなことに気づけるようになったと同時に、それ故の新たな困難さを経験する時期かもしれません。

より責任ある役割りを担うことのプレッシャーがあるかもしれません。自分はもう若手ではないのだ、とはいえ、そこまで自信もてない、焦りを感じてしまう、という状況は自然なプロセスです。この時期に、さらなるスキルアップの必要性を感じることも多いのではないのでしょうか。

知識を学ぶことは努力でできますが、事態を多面的に捉えていく臨床的な眼差しは、多様な感じ方・考え方をする他者との対話による内省を積み重ねる経験により育まれて行きます。

また、現場では自分自身が臨床の道具であることから、自らの情緒経験を切り離すことはできません。むしろそれをいかに活用していくのが重要となってきます。とはいえ、臨床実践においては耐え難い情緒や苦悩を抱えていくことは避けがたいこともあります。

ワークディスカッションでは、それらの情緒経験が、関りを持つ支援対象者との間で、あるいは職場組織の中で、どのように生じているのかを検討していきます。この時にはこうしたら良いという指導型の学びではなく、参加者が自らの経験や実感を通して話し合う中で、広がりのある理解を得て、再度現場で何とか取り組もうとする姿勢を回復したり維持していくことを支え合う場です。

自らの臨床的姿勢を振り返り、さらなる可能性を広げ、活力を得ていくために、
支え合うグループをいっしょにつくっていきませんか？

【対象】 臨床経験およそ10～20年の臨床心理士・公認心理師

対人援助職 * 守秘義務を守れる方

【人数】 5～8名程度

【日時】 第4金曜日 19時45～21時45 (5月～2月 年10回・3月は予備日)

【場所】 オンライン@ ZOOM

【費用】 40,000円 (税込・分納可2回or4回) * 随時募集 (参加時からの料金)

【申込方法】 <https://x.gd/jGDYF>

【ファシリテータ】 吉沢伸一 (臨床心理士・公認心理師)

子どもの精神分析的心理療法士 (サポチル)

日本臨床心理士会 児童福祉・子育て支援委員会協力委員

日本ワークディスカッション研究会副理事

【問合せ】

Mail: counseling_office_sy@yahoo.co.jp

HP: <https://shinichi-yoshizawa.com/>

